

いわき市農業生産振興ブランド戦略プラン（概要版）

～ 「いわきのめぐみ」 でつなげる持続可能な魅力ある新時代の農業～

第1章 計画概要

○メインテーマ

「『いわきのめぐみ』でつなげる持続可能な魅力ある新時代の農業」をメインテーマとし、多様に変化する社会情勢や市場ニーズに対応した、持続可能な魅力ある新時代の農業を目指す。

第1節 プラン作成の趣旨

（これまでの取組、現在の農業を取り巻く環境）

第2節 プランの位置付け

「いわき市農業・農村振興基本計画」を上位計画とし、生産振興部門及びブランド戦略部門のアクションプランを策定する。

第3節 プランの期間

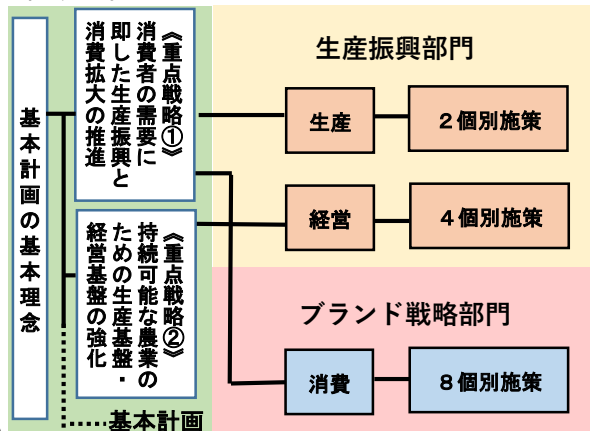
令和4年度～令和7年度の4年間

※上位計画の計画期間と同一

第4節 前期プランの総括

○上位計画との関係

上位計画の重点戦略①『消費者の需要に即した生産振興と消費拡大の推進』、②『持続可能な農業のための生産基盤・経営基盤の強化』に基づき、農業生産振興部門では「生産」「経営」に関する6つの個別施策を、ブランド戦略部門では「消費」に関する8つの個別施策を設置する。



第2章 農業生産振興の方針

○生産『消費者の需要に即した生産振興』

本市の地勢的特徴を活用した適地適作や高収益作物の導入などによる新たな産地形成を促進し、高品質な園芸作物等の生産拡大による、いわきらしい特色ある農業を推進する。

施策の方向性	個別施策
流通の実態と消費者の需要に即した生産振興	①消費者ニーズと合致した農産物の供給 ②いわきらしい産地づくりと生産振興

○経営『持続可能な農業のための生産基盤・経営基盤の強化』

近年多様化する災害等のリスクにも対応可能な強固な経営基盤を確立するため、情報通信技術（ICT）の活用や、経営の合理化・法人化などの取組を推進する。

施策の方向性	個別施策
生産性と収益性の高い農業経営の確立	①生産施設等の整備拡充と近代化 ②スマート農業の推進 ③経営の多角化や複合化の推進 ④収益性の高い水稻栽培の推進

第3章 ブランド戦略の方針

○消費『消費者の需要に即した消費拡大の推進』

いわき産農産物等のおいしさや生産過程における多様な付加価値等の魅力の効果的な情報発信により、地産地消を推進するほか、いわき産農産物等のブランド化などの消費拡大に向けた取組を推進する。

施策の方向性	個別施策
流通の実態と消費者の需要に即した生産振興	①サプライチェーンの考え方に基づく流通網の実態把握
農産物等の高品質・高付加価値化の推進	②6次産業化へ向けた取組の推進 ③農業生産工程管理（GAP）の普及や啓発
消費者と食・農とのつながりの深化	④地産地消・地域内流通の促進 ⑤食農教育や直売所による消費者と農業者の関係強化
農産物のブランド化と情報発信の強化	⑥ブランド化の推進と販路拡大 ⑦放射性物質検査に関する情報発信 ⑧本市産農産物の魅力発信

【振興作目】

ブランド作目	いちご、トマト、なし、ねぎ
ブランド化推進作目	いちじく、さやいんげん、鉢物類、切り花類、とっくり芋、自然薯
作付推進作目	ブルーベリー、ぶどう、いわき伝統野菜（とっくり芋以外）、ピーマン



第4章 推進体制

関係組織・団体等及び市民との連携・協力により、各種施策を推進する。特に、これら関係組織等との連携を強化して実施する必要がある施策は、「いわき市農業生産振興ブランド化協議会」を実施主体とし、同協議会内に2つの委員会を設置する等、更なる生産力の強化及びブランド戦略の推進を図る。

